

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：令和 3 年 2 月 1 日

事業所名：有限会社 ポラリス 翔野里 サービス種類：(放課後等デイサービス)

| 区分 | チェック項目 | 現状評価 (実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|--|-----------------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 指定基準に基づきサービス提供を行っています。 | 「はい」が67% | 基準を満たしているが活動内容を工夫し確保していきたい。 |
| | 2 職員の適切な配置 | 指定基準に基づきサービス提供を行っています。 | 「はい」が79% 男性職員が増えるといいと思う。 | 基準を満たしている。 適切に支援できるよう今後も配置する。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | 室内に入るためのスロープを配置している。視覚支援などでスケジュールをわかりやすく表示しています。 | 「はい」が61% | 車椅子の活動スペースや静かに過ごせる場所の工夫をしていきたい。 利用者がわかりやすい表示方法を考えていく。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 毎日清掃、定期的に消毒を行っている。本年度は新型コロナの影響もあり消毒・換気に注意した。 | 「はい」が68% | 利用者が気持ちよく過ごせるように衛生管理や環境管理を行っていく。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 定期的に会議を行っています。 | | |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | | | |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 外部講師による研修を定期的に行っています。 | | |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 契約時に聞き取り、相談支援所と情報交換しながら連携し計画を作成しています。 | | 保護者、学校、相談支援所と連絡を丁寧に行い、日々のサービスにおいて適切に分析し計画を作成していく。 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | モニタリング、会議を行い作成しています。 | 「はい」が93% | 児童支援利用計画に基づき相談支援所と連絡を取り合い利用者の状況に合わせて制作していく。 |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 会議を行い職員間で共有し本人に合うように作成している。しています。 | | モニタリングや各機関と連絡を取り合い具体的にわかりやすく記載していく。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価（実施状況・工夫点等） | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|--------------|---|--|---|--------------------|--|
| 適切な支援の提供（続き） | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 個別支援計画に基づき支援するように心がけています。 | 「はい」が93% | 計画に沿って適切に支援できるように努めています。 |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 職員で話し合い、季節やり用者の状況に応じてその時に合ったプログラムを考えています。 | 「はい」が89% | 利用者が楽しめるように、季節感なども取り入れながらプログラムを工夫していきたく思います。 |
| | 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 休日、長期休暇などは外出の機会増やすようにしています。 内容が単調にならないように考えています。 | | 利用者楽しみに通えるように内容を工夫していきたくと思います。 |
| | 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 利用者に応じて内容を工夫しています。 外部講師による活動を取り入れています。 | | 保護者・利用者の意見も取り入れながら考え、実施していきたくと思います。 |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 支援開始前に職員間で内容の確認、連絡を行っています。 | | |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 終了後は報告・確認を行い、定期的に会議を行い職員間で情報の共有をしています。 | | |
| | 10 | 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 業務日誌・個人記録を記入しています。 | | |
| 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。 | | | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価（実施状況・工夫点等） | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--------|---|------------------------------------|--------------------|
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 管理者が参加してる。 | | |
| | 2 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | |
| | 3 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有 | | |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供 求められれば情報提供を行っています。 | | |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | | |
| | 7 | 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 提供していない。 | 「いいえ」「わからない」が81% ・聞かないが特に求めている。 | 必要に応じて考えていきたい。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 支援会議の参加にとどまっている。 | | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価（実施状況・工夫点等） | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------------|--------|--|----------------------------------|---|--|
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 契約時に契約書・重要事項説明書・運営規則に沿って説明しています。 | 「はい」が93% | 丁寧にわかりやすく説明していくように努めます。 |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 用紙を見ながら説明を行い同意を頂いています。 | 「はい」が96% | わかりやすい言葉で丁寧に説明していくように努めていきます。 |
| | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 利用者の様子や対応を説明しているが、専門的には行っていない。 | 「いいえ」と「わからない」が57% ・必要な時に個々に相談にのってもらえたらよい。 | 相談をうけたり、必要に応じて感がえていくようにしたい。 |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 連絡帳や送迎時に行っています。 | 「はい」が97% | お互いに共通理解できるように丁寧に行っていきたいと思います。 |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 保護者から相談を受ければ行っている。 | 「はい」が64% | 情報交換なども踏まえ積極的に取り組んでいきたいと思います。 |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 行っていない。 | 「いいえ」と「わからない」が86% ・同じ学校の保護者が多いのでデイでは求めている。 | 必要に応じて検討していきたい。 |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 管理者が対応。 迅速に対応するようにしています。 | 「はい」が56% ・苦情を言うことがないのでわからない。もしあれば対応してもらえと思う。 | 迅速に対応できるように努めていきます。 苦情が出ないように普段から丁寧に説明を行っていきます。 |
| | 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 細心の配慮を行っています。 | 「はい」が89% | 伝わりやすいように工夫を重ねていきたい。 |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 施設通信で行事予定や日常の様子を伝えています。 | 「はい」が93% | 情報誌やHPなどで情報発信を進めていきたい。 |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 十分に注意しています。 | 「はい」が71% | 今後も十分に注意していきたい。 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価（実施状況・工夫点等） | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---------|--------|--|--|--------------------------------------|---|
| 非常時等の対応 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 各マニュアルを策定し、職員間で共有している。 | 「はい」と「どちらでもない」が54%・利用開始頃に聞いたような気がする。 | 保護者への周知ができていないので、徹底できるように取り組んでいきたいと思います。 |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 定期的に行っています。 | 「わかり」が50% | 保護者への周知ができていないので、施設通信などを通して知らせていきたいと思います。 |
| | 3 | 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 外部講師による研修を定期的に行っています。職員間で話し合い共通理解を図るようにしています。 | | |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 噛みつき防止のタオルや座位保持椅子などを使用する際には、説明を行い保護者から同意を得ています。また緊急に対処を行った時は送迎時に状況説明を行い理解を得ています。 | | |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 家族に聞き取りを行い対応しています。 | | 聞き取りをもとに注意しながら対応していきます。 |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 作成し施設内で共有しています。 | | |